事業番号	15　01　02

事業改善シート（29年度実施事業分）

□当初要求　□当初予算案　■補正予算案　□点検

事　業　名	公共交通機関を活用した学習活動推進事業	部局	教育委員会	課・室	教育政策課
		実施期間	不明 ～	E-mail	kyoiku@pref.nagano.lg.jp

しあわせ信州創造プラン（総合5か年計画）	
プロジェクト	
施策の総合的展開	

1　事業の概要

現状（予算編成時）	・子どもたちを取り巻く環境は社会情勢の変化等とあいまって刻々と変化しており、子どもたちにとって必要となる学びを習得するには学校だけでは限界がある。 ・地域鉄道において、沿線人口の減少等により、輸送人員が減少傾向にある中で、子どもたちの鉄道利用機会が少ないことやマナー面での課題がある。	29年度補正後額	1,892 千円
		職員数	0.00 人
目指す姿	・地域の玄関口である鉄道を利活用した学習を通じて、児童・生徒の社会性の向上を促す等これからの長野県を担う子どもたちの育成に寄与する。 （主な実施内容：　など）		

事業コスト

区　分（単位：千円）		27年度	28年度	29補正後
予算額	前年度繰越			
	当初予算			
	補正予算			1,892
	合計（A）	0	0	1,892
Aの財源	一般財源			
	県　債			
	国庫支出金			
	その他	0	0	1,892
決　算　額（B）				
概算人件費	職員数（人）			
	概算人件費（C）	0	0	0
概算事業費（B（A）+C）		0	0	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	27年度末	28年度末（見込）	29年度 目標値	29年度 成果	29年度 達成状況
	「学習の場」として鉄道を利活用し、地域を学ぶ県立高校数	―	―	8校		

成果指標設定理由	以前と比べて社会との接点が少ない子どもたちの社会性を高めるため、より多くの児童・生徒に「教育の場」として鉄道を利活用してもらう。

補正により取り組む事業内容	長野県教育委員会と連携協定を締結しているしなの鉄道株式会社と相互に協力して、ふるさと信州寄付金を活用した事業実施を企画する。 ・子どもたちの学習成果の発表の場とするとともに、地域について考える機会を提供する。 ・学習の成果をPRするとともに、地域や社会との接点の場とする。 ・学生はもとより社会人にも乗車マナー等を遵守する意識の高揚を図る。

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度　実施内容（予定）	職員数（人）	29年度（補正前）	29年度（6月補正）	29年度（補正後）
1		地域鉄道20年後の未来プレゼン大会	「地域振興と鉄道の未来」を考え、自らのできること等について、しなの鉄道20周年記念イベントの場で発表する。		0	709	709
2		高校生発案のイベントトレイン	県内公立・私立高校生の自由な発想で列車を活用する。 イベントに併せてしなの鉄道沿線の高校等の生産物をしなの鉄道の駅で販売する。		0	243	243
3		車内マナー向上コンテスト	列車への乗車マナーについて、高校生がマナー啓発映像を作成し、しなの鉄道の車内モニターや駅で放映する。		0	940	940
			合計	0.00	0	1,892	1,892